低線量CTで、肺の状態を確認

肺ドック

のご案内



CT装置：Supria Optica
写真出典：富士フイルム公式サイト

今、吸っている方も。
以前、吸っていた方も。

検査装置のご紹介

肺を、断面で見る。
喫煙歴と向き合う機会に。

年齢や喫煙量に合う検診を。当院では、放射線量を抑えた低線量CTと喀痰検査で肺を調べます。

特に、受診を相談していただきたい方

50〜74歳　かつ　喫煙指数 600以上

喫煙指数 ＝ 1日の喫煙本数 × 喫煙した年数　例：20本 × 30年 ＝ 600

この条件の方には、最新指針で年1回の低線量CT検診が推奨されています。［1］
その他の方への死亡率減少効果は十分に確認されていないため、受診の適否をご相談ください。過去の喫煙歴もお伝えください。

人間ドックのご予約時にご相談ください

「肺ドックを追加したい」と
お伝えください。

人間ドック追加料金（税込）

12,100円

低線量CT・喀痰検査 ／ 完全予約制
基本コース料金は別途必要です。

お問い合わせ電話　015-482-2241　　**申込受付**　8:30〜17:00

検査の詳細・注意事項・出典は2ページをご覧ください。

肺ドックのご案内

胸部X線では見えにくい部分も、断面で。

CTは、胸部を輪切りの画像にして調べる検査です。骨や心臓と重なる部分も確認し、肺の小さな結節などを探します。



画像例：胸部X線（左）／ CT（右）

> **喀痰検査も、あわせて行います。**
>
> 痰に含まれる細胞を顕微鏡で確認します。画像に異常があっても、必ずがんとは限りません。結果に応じて、必要な検査につなげます。

ご予約から結果確認まで

01

予約・事前相談

年齢や過去を含む喫煙歴、現在の症状などをお伝えください。

02

低線量CT・喀痰検査

撮影や痰の採取方法は、当院の案内に従ってください。

03

結果に応じた確認

精密検査が必要な場合は、必ず受診してください。異常があっても、がんとは限りません。

検査を受ける前に知っておきたいこと

低線量CTでも放射線被ばくはあります。追加検査の負担や、治療が不要な病変を見つける可能性（過剰診断）もあります。画像に異常があっても、必ずがんとは限りません。検査の利益と不利益を踏まえてご相談ください。［1］

> **血の混じる痰、長引く咳、息切れなどがある方は、まず診療を受けてください。** 妊娠中・妊娠の可能性がある方、肺の病気で治療中の方も事前にご相談ください。［2］

お申し込みは「肺ドックを追加したい」とお伝えください。
料金・お問い合わせ欄は1ページに掲載しています。

［1］国立がん研究センター「肺がん検診ガイドライン2025年度版」
［2］国立がん研究センター がん情報サービス「肺がん検診について」
装置写真：富士フイルム「Supria Optica」